

高齢者のやすらぎの家 やまね

だより 29号

発行者 ボランティアグループ なの花

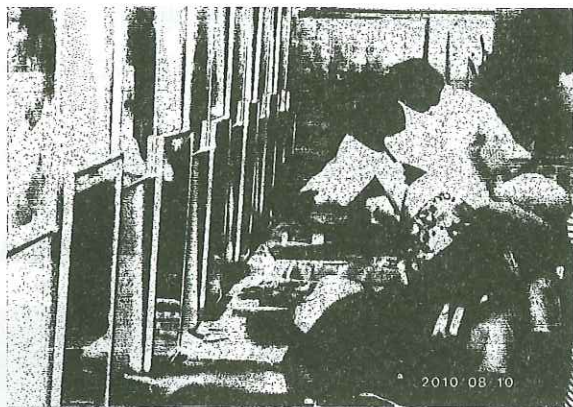
会長 森田 元治

発行所 792-0834 新居浜市中西町 16-20

「やまね」Tel 0897 41-0104

発行日 2010. 9. 9

原爆パネル展



原爆パネル展を開きました

8月4日～10日ふれあいプラザで原爆パネル展を原爆被害者の会と共催で開きました。広島と長崎に原爆が落ちて65年。

パネル写真40枚、体験集、原爆関係の出版物などを展示しました。

また、アニメの放映、被爆体験者と参観者との対話を行ないました。

7日間で約300名の参観がありました。

朝日保育園の園児22名には、アニメの「はだしのゲン」を見てもらい、感想を聞いてみました。すると、戦争はこわいとの声でした。

新田保育園の学童保育の13名は、展示している写真の内容について説明を求めたり、原爆の漫画や絵本を一生懸命読んでいました。なかには広島に行って見たことがあると答えた学童もいました。

また、参観者の協力を得て感想文を書いてもらいました。

感想文をまとめると、原爆はこわい、戦争は絶対したらいかんという声が圧倒的でした

パネル展は、また来年も開催する予定です。

夏ボラの受入れ

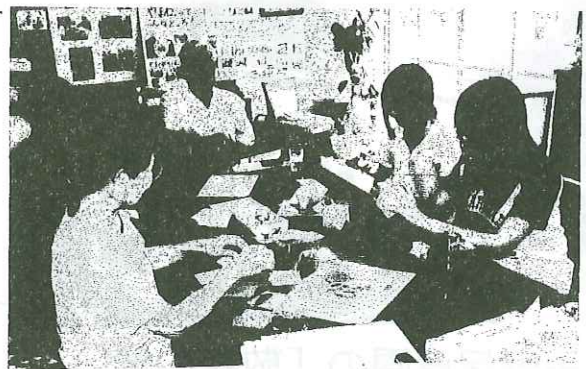
8月20日専門学校生二人の女性が「やまね」に夏ボラの実習にみえました。

県は、学生に夏休みを利用しボランティアの体験をするよう勧めています。

この日は、趣味の集いの予定でしたが、参加してくれる利用者が急に都合が悪くなり、学生には迷惑をかけました。

やまねが出来た経過、利用者との人間関係の大切さなどを話し、その後色紙で作る多角形ボール(モヤットボール)に挑戦してもらいました。

なんとか完成しました。

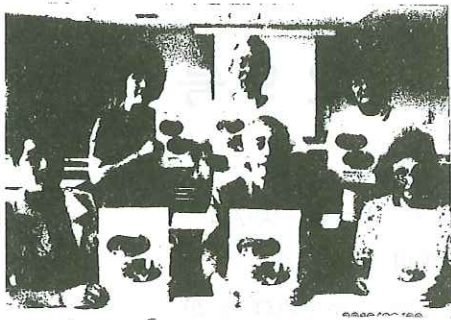


アルミ缶・プルタブのこと知りたい

角野小学校の6年と4年の姉妹が、夏休みの自由研究に、やまねのことを取り上げてくれました。

選んだ課題は、やまねに集まったアルミ缶やプルタブの行方でした。

たくさん溜まったら売って行事に使う文房具、布、それにプレゼントなどの費用に活用していることを説明しました。



愛媛県越前市中野町16-20
ボランティアグループ「なの花」

5周年記念誌を発行しました

やまねを開設して5周年になったのを記念して冊子を発行しました。

市長、行政、福祉関係者、利用者、ボランティア22名からご寄稿をいただきました。

愛媛新聞の「愛ウェブ 2009」の助成をいただき250部を6月末発行しました。

お配りした方から激励やさらに10年目に向けて努力して欲しいとのご意見をいただきました。ありがとうございました。

なお、助成をいただいた団体の成果報告会が8月24日愛媛新聞社であり、「なの花」から副会長の藤田さんと会長のわたし（森田）が出席しました。

ボランティア連絡協議会20周年

新居浜市ボランティア連絡協議会設立20周年記念の催しが、9月5日ふれあいプラザでありました。

協議会へは「なの花」も加盟しており、全部で23グループが加盟しています。

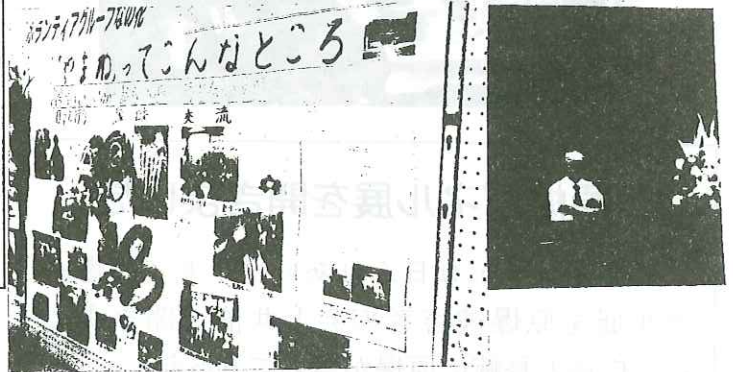
毎月の例会では行事予定や情報交換を行なっています。

会場には23団体の活動内容をアピールしたポスターの展示があり、また枝廣篤昌先生の落語では笑い効用を聞きました。

約260名の参加があり、盛大な記念行事でした。

また、市、教育長や社会福祉協議会会長の祝辞などがありました。

新居浜市ボランティア連絡協議会
設立20周年記念式典



角野保育園の「敬老の集い」

9月7日角野保育園の「敬老の集い」があり、やまねも招かれました。

園児たちの楽しい歌や踊りで心が癒されました。

やまねからは4名が参加し、指先の体操やお手玉遊びを披露しました。

教室では、美味しいハンバーグとサラダの昼食を園児と一緒にいただきました。

園児さんありがとうございました。

やまねにも遊びに来てくださいね。

「やまね」とは

高齢者が気軽に立ち寄ってお茶でも飲みながらお話や五目並べ、編み物などができる場所（家）です。

来ていただくと誰か居ます。

それぞれが来たいときに来て、帰りたいときに帰る仕組みです。

利用料として300円を頂いております。

アルミ空き缶の回収に感謝

アルミ空き缶やプルタブの提供を多くのみなさんにいただいていることに心より感謝申し上げます。

これからもよろしくご協力の程お願いいたします。